

# 修身說約問答方 上

復刊版



群馬地域文化振興会

木戸麟編

上之卷

修身說約問答方

明治十三年一月十七日版權免許



修身說約問答方

弁言

幼童ヲ提誨スルニ當リテ、其ノ志氣ヲ暢發セシ

ムルモノハ、問答ニ如クモノ莫カルベシ、然レモ

之ヲ爲スニ方アリ苟其ノ方ヲ得ザルトキハ、喋

喋數萬言、童ニ益莫キノミナラズ、浪ニ貴

重ノ光陰ヲ費スノ舉トナラシメ、問答ノ要

ナシ、幼童ヲシテ一篇ノ主眼ヲ曉ラシメ、其ノ精

神ヲシテ憾發興起セシムルニ在リ、此ノ書ノ如

キハ即其ノ方法ヲ指南スルモノナレバ修身說

弁言

修身說

約ヤクヲ問答スルノ時トキ此ノ書ニ依ヨリテ之ヲ爲ナサバ蓋カシ

益エキアルニ庶幾チカシシカ

明治十二年九月十日

著者誌

修身説約問答方卷ノ上

本戸 麟 著

第一

問<sub>ヒ</sub> 天地ノ間テシチ 大恩ダイオン アルモノハ、何ナニナルヤ 答<sub>ヘ</sub>

父チト母ハハナリ

問<sub>ヒ</sub> 人ノ萬マンノ行ユキヒノ本モトタルモノハ、何ナニナルヤ

答<sub>ヘ</sub> 孝カウナリ

問<sub>ヒ</sub> 人ノ未ミ生ウマレザル前マエニハ、イカナルコトニテ

親オヤヲ苦クルシムルヤ 答<sub>ヘ</sub> 懐胎スエイモチニ在アリテ、母ハハヲ苦クルシム

問、人既生ルレバ父母ハイカナルコトヲ爲ス

答、イロクノカシ 艱難辛苦ヲ厭ハズシテ其ノ子ヲ養

イク 育ス

問、吾ガ子ニ病ナド有ルトキハ、父母ハイカナ

ル事ヲ爲スヤ 答、チクヤ 晝夜寒暑ノ別チ莫ク、吾

ガ身ヲ忘レテ介抱ス

問、子ノ少ク長スルニ及ビテハ、父母ハイカナ

ル事ヲ爲スヤ 答、オヨ 善キ人ニ成レカレト、學

校へ通ハセ諸藝ヲ學バレム

問、子ノ家ヲ治ムル程ノ歳ニナレバ、父母ハイ

カナル事ヲ爲スヤ 答、縁ヲ求メテ、妻ヲ迎

へ、子孫ノ榮ヲ希フ

問、子ノ世ノ人ト交ルヲ見テハ、父母ハイカナ

ル心配ヲナスヤ 答、或ハ悪キ友ニ引カレ、

或ハ不慮ノ難ニ遇ハンカト、絶エズ心ニ之ヲ

思フナリ

問、父母一生ノ營ミハ、何ノ爲メニスルモノナ

ルヤ 答、皆子ノ爲メニスルモノナリ

問、人ノ子タルモノ、父母ノ言フコトハ、イカバ

スベキモノナルヤ 答、朝夕其ノ言ヲ守リ、

朝夕其ノ言ヲ守リ、

少<sup>スレ</sup>モ之<sup>コレ</sup>ニ違<sup>タガ</sup>フベカラザルモノナリ

問<sup>ヒ</sup> 父母ニ物言<sup>モノイ</sup>フニハ、イカ、スベキモノナル

ヤ 答<sup>ヘ</sup> 辭<sup>コトバ</sup>ヲ丁寧<sup>テイジイ</sup>ニシテ、非禮<sup>ヒレイ</sup>アルベカラザ

ルモノナリ

問<sup>ヒ</sup> 吾<sup>ワ</sup>ガ身<sup>シ</sup>體<sup>タイ</sup>ハイカナル者<sup>ナ</sup>ナルヤ 答<sup>ヘ</sup> 父母

ヨリ賜<sup>タマ</sup>ハリタル此<sup>コ</sup>ノ上<sup>ウ</sup>モ莫<sup>ナ</sup>キ大<sup>タイ</sup>切<sup>セツ</sup>ナルモノ

ナリ

問 イカナルコトガ不<sup>フ</sup>孝<sup>カウ</sup>トナルモノナルヤ

答<sup>ヘ</sup> 朋友<sup>トモトモ</sup>ト鬪<sup>トウ</sup>毆<sup>オウ</sup>シ或<sup>イ</sup>ハ危<sup>キヤウ</sup>キ場<sup>バ</sup>處<sup>トウ</sup>等<sup>トウ</sup>ニノジミ

少<sup>スレ</sup>一<sup>イチ</sup>テモ毀<sup>ゾク</sup>ヒ傷<sup>キズ</sup>ツクコトアリテハ不<sup>フ</sup>孝<sup>カウ</sup>トナ